

## 令和3年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進経費 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援経費
プロジェクトの名称	小学校・中学校英語の指導・評価を軸とした教員養成プログラム・教材の開発と普及
報告者氏名・所属・職名	クリストファー・カネフラー 釧路校講師
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	クリストファー・カネフラー 釧路校講師 萬谷 隆一 札幌校教授 志村 昭暢 札幌校教授 石塚 博規 旭川校教授 鈴木 健太郎 釧路校准教授 内野 駿介 札幌校准教授 梅本 宏之 釧路校特任教授 西本 有希 附属札幌小学校教諭 三村 仁 附属旭川小学校教諭 安彦 有里恵 附属函館小学校教諭 柏 敬太 附属札幌中学校教諭 小川原 周太 附属札幌中学校教諭 舘下 真二 附属旭川中学校教諭 福留 詩織 附属函館中学校教諭 坂下 眞美 附属釧路義務教育学校前期課程教諭 柳澤 知優 附属釧路義務教育学校後期課程教諭 堀口 基一 附属札幌小学校副校長 太田 和幸 附属札幌中学校副校長 斉藤 誠 附属旭川小学校副校長 西岡 裕英 附属旭川中学校副校長 新田 英樹 附属函館小学校副校長 白川 卓 附属函館中学校副校長 大月 さゆり 附属釧路義務教育学校前期課程副校長 小林 一博 附属釧路義務教育学校後期課程副校長
研究内容及び成果の概要	<p>① <u>教員養成3校における初等英語及び初等英語科教育法の授業において、令和2年度に作成した附属小学校教員による教員養成学部生向け動画講義とテキスト（小学校教員の研修にも利用可能）を開発・充実させたいうで、指導に活用し、その内容についてのアンケートや小レポートを作成し、内容の理解度等について調査する。</u></p> <p>札幌校の初等英語の講義において令和2年度に作成した小学校教員による授業動画を視聴させた。視聴後、学生からは「小学校で英語を教えるにあたっては特に音から入ることが大切であると思った」「児童の発話には教師がリアクション（リキャスト）するとよいことがわかった」「小学校の授業では英語は楽しいものであると感じてもらい苦手意識を抱かせないことが大切であると感じた」等の感想</p>

が得られた。

② 教員養成3校の中等英語科教育法において使用できる附属中学校教員による教員養成学部生向け動画講義とテキスト（小学校教員の研修にも利用可能）を開発する（ビデオカメラおよび動画編集ソフトを使用）

附属中学校教員による教員養成学部生向け動画講義を2本作成し（附属札幌中学校の柏先生担当）、札幌校の中等英語科教育法Ⅰの授業で、実地講師担当回のオンデマンド授業として利用した。

③ 令和2年度に作成した附属小学校教員による教員養成学部生向け動画講義とテキスト（小学校教員の研修にも利用可能）を配布する学校について、質問紙調査を行い、その活用状況について調査する。

④ 令和2年度に小学校英語オンライン講座で作成した小学校教員向け研修講義動画及び授業研究とテキストについて、北海道内の小学校教員（小学校英語オンライン講座受講者）40名程度にアンケートまたは小レポートを提出してもらい、その内容の評価や理解度について調査する。

本学で行っている令和4年度小学校英語オンライン講座の受講生（小学校教員）に小学校教員向け研修講義動画及び授業研究とテキストを公開し、動画視聴に関しては延べ150回以上の再生がなされた（令和4年3月15日現在）。視聴後のアンケートを行ったところ、授業内容の理解について、66.7%の教員からとても理解できた、33.3%の教員からとてもよく理解できたとの回答が得られた。また、授業内容の振り返りとして、「CAN-DO リストやルーブリックなどを含め評価に関しては、一般の公立校の教員にはなかなか手の出しづらい分野なので、附属小で研究を深め、発信して下さることに感謝している」や、「子どもたちが楽しそうに生き生きとした様子で学習していることが良かった」等の高評価を得た。

成果の公表の状況

【著書】

萬谷隆一・志村昭暢・内野駿介(編)『指導・評価を軸とした英語授業の小中連携 実践編』北海道教育大学 2022年、85頁。

【学術論文】

教育現場で活用可能な分野・教材等

開発した動画が10本あるが、児童・生徒の肖像権の問題があり、学内のみで再生可能。

配布又はダウンロード可能な資料

問い合わせ先

代表者：萬谷隆一（札幌校）  
電話：011-778-0352  
FAX：011-778-0352  
mail：yorozuya.ryuichi@s.hokkyodai.ac.jp